

- 水不足であった本地域において基盤整備を実施し、農業用水の安定供給、生産性の向上、生活環境改善を実現。
- 農地、農業用施設の維持、地域内の景観向上のため、様々な共同活動を展開。
- 世界遺産等の豊かな地域資源と美しい農村風景の維持・向上により、観光交流の活性化、集落人口を維持。

取組前

地域のすがた

- 天野地区は、高野山の麓に位置しており、高野山ゆかりの史跡が多く存在し、ホタルの生息地であるなど、歴史や自然環境に恵まれている
- 「天野米」を中心に、高原野菜、花きを栽培



天野地区

取組前の課題

- 狭小で不整形な区画
- 水源が溪流であり安定的な用水の確保が困難
- 過疎化、高齢化による担い手不足
- 上水道が未整備



取組内容

用水の安定供給とほ場整備

中山間地域総合整備事業(H8~14)
ほ場整備61ha、農業用排水路、営農
飲雑用水施設などを整備



- ・ 安定的な用水確保により品質向上、区画整形により水稲や野菜の生産性の向上
- ・ 上水道の供給により生活環境の改善
- ・ 環境に配慮した水路整備により豊かな生態系や景観の維持

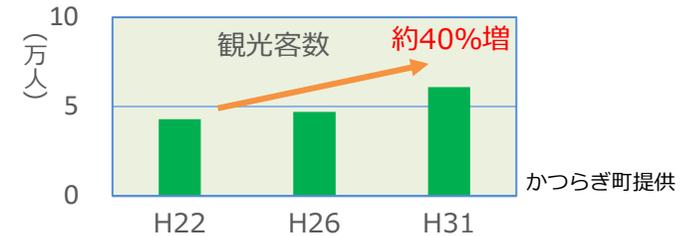
地域住民による共同活動

- 日本型直接支払の活用
- ・ 中山間地域等直接支払 (H17~)
 - ・ 多面的機能支払 (H27~)
- 過疎集落支援対策 (H26・H28)
- 天野の里づくりの会 (H18~)
- ・ 自然や文化・歴史に恵まれた天野の里づくりに寄与
 - ・ 企業との交流と連携

取組後

観光交流の活性化

【観光客の増加】



- 「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産への登録をきっかけに、世界遺産及び美しい農村風景を有する魅力ある農村として「天野の里」をPR
- 直売所やカフェ、宿泊施設の開設
- 農家民泊や農業体験を通して、他地域小学校や大学と交流

【移住促進と地域活性化】

- 移住希望者の受け入れの推進と、地域に溶け込めるよう移住者が会の役員を努めたり共同活動を主体的に行うことにより、刀鍛冶、陶芸家、カフェ経営、靴職人等の多様な移住者が定住し現在では全約100世帯のうちおよそ3割が移住世帯となっている
- 農村景観の保全活動や耕作放棄地の発生防止対策に企業などと連携し取組み、地域の活性化を進めている



農村景観の美化活動



田植え体験を通じた企業との交流



企業と連携した耕作放棄地対策のそば栽培

◆ 誰がどのように・・・？

最初は基盤整備への賛成者が少なかったが、集落の区長、改良区役員が中心となり、負担金、工事中の収入減、整備後の営農などの課題を関係者と話し合い、地域の合意形成を促進。

天野米
直販所「ようよって」

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」(H16)への登録を契機として、天野地域へ訪れる人が増加しました。



中山間地域直接支払、多面的機能支払等を活用

きっかけ

用水の確保が困難
水田区画が小さく作業効率が悪い
過疎化・高齢化

Step1 (H2~7)

合意形成

- 地元、町、県、農協等による「ほ場整備推進協議会」を発足(H2)。整備内容の検討、各地見学、アンケートなどを再三にわたり実施することにより合意形成を図り、平成7年に同意

Step2 (H8~14)

基盤の整備

- ほ場整備と農道整備で作業効率の良い基盤に整備
- ため池、用排水路整備により農業用水不足を解消、営農飲雑用水施設により、生活用水を確保

Step3 (H15~)

直売所開設

- 事業実施を契機に醸成された住民の思いから、世界遺産「丹生都比売神社」と道を隔てたところに直売所を開設し、ブランド米「天野米」や、トマト、キュウリなどの野菜や加工品等、地元天野の生産物を販売

Step4 (H17~)

共同活動の取組

- 世界遺産を有する田園地域を拠点に、ほ場整備された農地や農業用施設の維持管理が定着
- 世界遺産と農村の原風景をPRし地域の魅力向上を図っていく中で共同活動が拡大

基盤整備を実施する中で、集落内での話し合いが深まり、自らの里づくりに対する意識が変化しました。

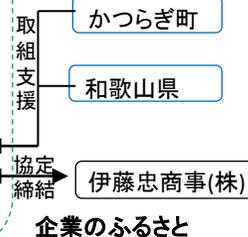
天野区多面的活動組織

- ・中山間地域直接支払
- ・多面的機能支払

天野区自治会

天野の里づくりの会

- ・農家民泊、田植え体験
- ・世界遺産の保全
- ・過疎対策



☆世界遺産登録を活用した地域活性化

整備後の農地の活用と世界遺産の登録により地域一体の活性化の取組が拡大し、地元有志が里づくりの会を発足し、町と協力し田植えなど農村景観保存活動を企業連携により推進



天野地区



天野地域交流センター

近年、天野地域に移住を希望する人が増加し、空き家の活用などの取り組みを実施している。

将来に向けて

- ☑ 移住希望者の受け入れと、担い手の確保のための新規就農者育成
- ☑ 地域交流センターを活動拠点とした更なる「天野の里」の魅力向上

今後の展望

Step6 (H26~)

移住促進と地域活性化

- 移住希望者受け入れの推進
- 里山保全活動で発生した竹を土壌改良材として「竹パウダー」や、「天野の竹楽ちんぬか床」に加工し、有効活用

過疎集落等自立再生対策事業、過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業を活用

Step5 (H18~)

天野の里づくりの会

- 農家民泊や田植え体験、世界遺産周辺の保全等の取組を通じて、地域の美しい自然や文化、歴史を活かした里づくりを企業とも連携しつつ進める
- 伊藤忠商事(株)等と連携した農業体験、保全活動、そば栽培などを行っている

伊藤忠商事(株) (H21~)

「企業のふるさと」協定を締結し、農業・農村を守るため、伊藤忠商事の社員と一緒に田植えや稲刈り体験、農村景観の保全活動を実施している